

塩田地域協議会会議録（第4回）

日 時 平成19年1月15日（月） 午後1時30分から4時

場 所 塩田公民館 2階ホール

出席委員 大口委員、岡村委員、工藤委員、小山委員、佐藤委員、塩入委員、竹内幸雄委員、中沢委員、西澤委員、平林委員、峯村委員、宮入委員、宮沢委員、山極委員、渡辺委員（15名）

市側出席者 西林土地改良課長、甲田塩田地域自治センター長、古川塩田地域自治センター庶務企画係長、土地改良課下村主任

1 開 会（塩田地域自治センター長）

2 会長あいさつ（大口会長）

3 会議事項（進行：会長）

（1）田園空間整備事業について（土地改良課）

（会長）田園空間事業の進捗状況について、西林課長の方から。

（土地改良課長）

資料により進捗状況等説明

（委員）以前、博物館ということだったが、それがとれた経緯について説明をお願いしたい。

（土地改良課長）事業が田園空間整備事業で、田園を一つの博物館として捉えるもの。農村自体を博物館に例えて、地域活性化、交流事業といったものを進めるもので、構想が「博物館」ということです。

（会長）塩田のまちづくりの一つの事業で、皆さんの理解が必要

（委員）20年度までの期間とあるが、19年度でだめなら止めるということも聞いているが。

（土地改良課長）事業は20年度までだが、予算との関係もある。県の予算が縮小化している、中山間事業も同じ。事業の期間としては20年度までとなっている。

（委員）東前山で説明会があり、地元負担の話が出ている。1戸数百円程度負担の話だったが、地元負担は？

（土地改良課長）当初はその話は無かったが、地域の施設という位置付けの中で、地元に応分の負担をいただきたいということです。

（委員）事業の実施主体は県か市か。地元負担は考えていなかったが維持費はどうなるのか。

（土地改良課長）県が事業主体で、国が50、県が25、市が25を負担する。建設費自体に地元負担は無いが、維持管理費についてはお願いしたい。溜池の維持管理、コア施設の維持管理について。

（委員）明日県の調査がある。自治会でも負担を考えないといけない。事業に反対はしないが。

- (土地改良課長)維持管理の範囲はケースごとに異なるが、草刈等は地元でお願いしたい。
- (委員)事業費が当初は22億だが、それが減額となった要因は何なのか。青木や川西は先に着手して事業が進んでいるが。
- (土地改良課長)13年度の見直しで17億になった。13.8億は上田市分で残りが青木村分。どうしてそうなったか詳細は不明だが、地元と合意できたものに集約されたと聞いている。
- (委員)県は要望が無かったからと言っている。地元の意見は十分汲み取ってほしい。
- (土地改良課長)当ても地元との合意で見直しされたもの。事業については、博物館構想という中での制約もあった。
- (委員)これからの課題として、地元で本気になってやってきたが、事業は遅れてきている。時間が無いが20年までになんとかするべき事業。途中で県が止めてきた経過はあるが、今後の対応はどのように考えているのか。
- (土地改良課長)県のことではっきり言えないが、工期を延ばすことは無いと思う。19・20で是非お願いしたいということで県の方へは言っている。地元の維持管理が可能なものに限って実施していきたい。
- (会長)西塩田地区で中心になって動いているが、塩田地区全体で考えていくべきだ。
- (土地改良課長)この事業は建設が目的ではなく、あくまで活用が目的の事業になっている。
- (委員)11年に塩田に最初に会議が設置されたが、その後他の地区から要望が挙げてきた。何でもできるという勘違いがあるのではないか、事業の目的の方に持っていくべきだと考える。
- (土地改良課長)当初は何でもできるというようなこともあったが、事業の本来の主旨は違うもの。風景など整備しないものも展示物としていこうということ。
- (委員)この事業は農水省事業で、全国で17か所だけの事業である。
- (委員)展示物という発想はいいが、それらが他と結びついた、周遊できるような組み立てができればと思う。
- (土地改良課長)それが事業の最終的な目的である。皆さんの知恵をお借りしたい。
- (会長)田園空間事業についてはこの辺で。

(2)「地域まちづくり方針」について

- (塩田センター長)委員さんの意見を議していただいて、方針を作っていくということをお願いいたします。

の「観光の推進」のついて提出資料の説明

- (委員)道路の整備、溜池の活用、別所線の存続が多くの人の共通認識だと思う。資源を残すにはお金がかかる。他にも沢山有る、例えば地元の神社なども、老朽化し地元では対応しきれないケースが多くあるが、市からの補助金はゼロに等しいものでしかない。維持管理が課題である。
- (委員)夢を語るにしてもお金のことが問題となる。別所線の存続も経営にまで立ち入らないと話にならない。地元の人がいかに利用するかがカギとなる。1日100人余計に乗ればどうなるのかなど。利益がでないとは存続できない問題。溜池

- の観光利用とはどういうことか。
- (会長)溜池は塩田の原点、歴史もまさに博物館的要素があり、観光資源となり得るもの。
- (委員)冬場、水を落とすと悪臭もし、観光資源となり得るのかという疑問もあったもので。
- (塩田センター長)田園空間事業でも水辺環境整備事業があり、周遊コースの中での一面もあるもの。
- (委員)昨年健康マラソンのコースである川西の泉池のまわりも風景が素晴らしいと言っていた。溜池は景色の一つとなるものと思う。
- (委員)農家組合員は減っている。池の管理をしているが、このままでは10年後の池の管理はどうなるのか心配だ。現実には厳しい面もあることを知っておいてほしい。
- (委員)このまま議論していけば1日かかってしまうが。
- (塩田センター長)溜池、自然を残す、道路整備といったことを中心に文章化していきたい。
- (委員)観光客と結びつくかという捉え方、活用してもらう方法も考慮していただきたい。
- (塩田センター長) 「緑農ゾーンの整備促進」について資料説明
- (委員)松くい虫への対応では予算も減ってきている。空中散布での効果もわからない。観光面から見て相当力を入れていかないといけないのでは。地元の協力方法も思いつかないが、今後の市の方向は。
- (塩田センター長)伐採での広葉樹への自主転化、空中散布は県の事業だが、地域限定で可能な限り続けていく方向だが規模については予算次第となっている。
- (会長)大学での研究、被害に耐える松の研究も進んでいる。松林は重要資源であり、保全できればと思う。
- (委員)下之郷の松、今切っても赤字になるということで頭悩めている。松茸は塩田の特産品。松林の良好な管理で松茸も良くなるのではないか。
- (会長)放っておくと荒れていくだけだ。
次に入っていきたいが。
- (塩田センター長) 「大学・研究施設と地域社会の交流の促進」について説明
- (委員)私立では研究よりも教育機関としての面が強い。大学院を設置して、研究機関化し、公的資金の投入可能なものにしてはどうかという考えです。
- (委員)そのとおりだが、女子短大でも規制もあり自由な研究は難しい。どうしても単発的なものになる。協議会設置の必要性は在り、信州大学のような形でできればよいと。企業もりサーチパークに多くあり。それと協力・連携できないものかと考える。
- (委員)地域のメリットは何かというと、地域への還元にあるのではないか。意見交換会的なもの、それが地域の活性化につながっていく。研究施設としての面を全面に押し出すのは余り賛成できない。
- (委員)教育者よりも研究者的な対応が必要ということで。
- (会長)地域との交流が一番の答えだと思うが。
- (塩田センター長)地域とのつながり、接点としての場面である組織の設定は必要であるということで、具体的にはこれからの話になります。

- (会長) 試案に盛り込んで次回に提案いただきたい。
- (塩田センター長) の「地域コミュニティ施設の整備」について説明
- (会長) 補足意等あればお出しいただきたい。
- (委員) とにかく早く複合施設の建設をお願いしたい。文化的資源、塩田は信州の学海ということも踏まえて。
- (委員) センターとコミュニティの違いは何か。
- (塩田センター長) コミュニティ施設は仮称で、地域の拠り所となる施設として考えている。事務レベルでは包含したものとして考えている。
- (会長) 1日も早く作っていただくということで、試案をお願いしたい。
- (委員) 建設委員会はあるのでしょうか。要望についてはどう出していったらよいか。
- (塩田センター長) 以前建設委員会はあったが、今は存続していない。この協議会でご意見を聞きながら進めていきたい。
- (会長) その他にもフリーな、新たな項目含め意見を出していただいたので、それを。
- (塩田センター長) 土地利用については、本日資料をお出ししたのでたたき台にしたい。土地利用については項目として考えられるのでお示したものです。
- (会長) ご意見をお伺いしたい。
- (委員) 身近なコミュニティについては福祉面にもつながっていくものとする。施設整備のみならず、地域内のコミュニティの充実が必要だと思う。
- (委員) 公民館活動は重要な位置付けなので、文章面で活かしていけばどうか。
- (会長) 現実的には3つに絞り込んでいくものなので、そういうことをお願いしたい。
- (委員) 特区の申請の件で、地域限定というのは可能なものなのかお伺いしたい。
- (塩田センター長) 今ここではっきり分かりませんので後で確認しますが、地域に特化するというのは難しいのではないかと思います。
- (委員) 健康に関して、スポーツから捉える面をお願いしたい。この中で、体育の分野が弱い気がするので検討をお願いしたい。
- (委員) 看板の規制はどうなっているのか、市の規制がどうなっているのかお聞きしたい。
- (塩田センター長) 県の条例上の一定の規制はある。景観の件については後で調べて報告したい。
- (委員) 規制が無いとしたら観光面でといってもどうにもならないが。
- (塩田センター長) 地域の合意に基づいてということでの規制は可能となる。
- (委員) 福祉や生活については暮らしやすいまちに含めれると思うが、生活環境や福祉は是非入れてほしい。
- (会長) それについては試案を作ってくださいをお願いしたい。
- (委員) 少子高齢化に伴って、それらの人々に対する災害時の対応は大切である。新しい防災計画の中で対応できていけばよいが。
- (会長) 次回の試案の中で対応いただきたい。旧上田市域の内容について、皆さんの方からどうでしょうか。この意見の出し方はどうなりますか。
- (塩田センター長) 特に意見等があれば付随意見として市のほうに出していくものです。
- (委員) 旧上田市全域としての意見を書かせていただいた。環境とかについての言及がほしい。
- (塩田センター長) 先ほどはこの地域の関係について述べた。これは全市的なもので、

付随的な意見を出すことは可能なので、塩田地域として考えるべきものがあれば出していただきたい。

(会長) 次回提案される試案を元に答申を作っていきたい。全体を通じて何かあればお出しいただきたい。

(委員) 協議会の連絡会議という話があったが、どのようになっているのでしょうか。

(会長) 今月18日に開催される予定。その結果についてはこの会議に報告させていただく。他に何かございますか。

(委員) 土地利用については、誰が、どこで、どうやるかが、現実的には難しい問題だと思う。

(会長) 他になければ、4のその他で、次回日程についてセンター長から。

(塩田センター長) 次回会議でございますが、1月26日の金曜日、同じこの場所をお願いいたします。2月5日までにとということで大変お忙しい中ですが、よろしくをお願いいたします。26日には答申の原案を提示したいと考えています。

(会長) 次回会議についてよろしくお願ひしたい、また、無断欠席はしないようお願いいたします。本日の会議、予定を30分オーバーしましたが、次回もよろしくお願ひいたします。